



エンドポイントの設定

- [エンドポイント プロビジョニングのデフォルト値 \(1 ページ\)](#)
- [エンドポイント プロビジョニングのデフォルトの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [エンドポイント プロビジョニングのデフォルトのタスクフロー \(2 ページ\)](#)
- [デバイスのデフォルト値の設定 \(3 ページ\)](#)
- [エンタープライズ電話の設定 \(7 ページ\)](#)
- [セルフケアポータル \(8 ページ\)](#)

エンドポイント プロビジョニングのデフォルト値

この項の情報を使用して、エンドポイントデバイスを設定し、エンドポイントにユーザを関連付けます。

ユニファイドコミュニケーションマネージャには、エンドポイントを追加する前にプロビジョニングできるデバイスのデフォルトのセットが含まれています。これらのデバイスのデフォルト設定を事前に設定した場合、新しいユーザをプロビジョニングすると、適用される設定に基づいてデバイスが自動的に設定されます。

次に、エンドポイントプロビジョニングの2つのデフォルト設定を示します。

- [デバイスのデフォルト値の設定](#)
- [エンタープライズ電話設定の構成](#)

エンドポイント プロビジョニングのデフォルトの前提条件

エンドポイントの登録用に設定されているポートを確認します。Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [Cisco Unified CM] に移動し、サーバを選択して、構成されているポート設定を確認します。



(注) ほとんどの場合、ポートをデフォルト設定から変更する必要はありません。

エンドポイント プロビジョニングのデフォルトのタスクフロー

システムのデバイスを設定するには、このタスクフローを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	デバイスのデフォルト値の設定 (3 ページ)	Unified Communications Manager ノードに自動登録するデバイスに適用される、デフォルト設定を変更できます。各タイプのデバイスには、特定のデフォルトのセットが設定されています。
ステップ 2	デバイスプロファイルの設定 (6 ページ)	(オプション) ユーザ用の特定のデバイスに関連付けられている一連の属性で構成される、デバイス プロファイルを設定できます。
ステップ 3	デフォルト デバイス プロファイルの設定 (4 ページ)	ユーザ デバイス プロファイルが設定されていない電話機にユーザがログインするたびに電話機が取得する、デフォルトのデバイス プロファイルを設定できます。
ステップ 4	デフォルトのデバイスプロファイルでのソフトキーテンプレートの設定 (4 ページ)	(オプション) ソフトキー テンプレートに追加するデフォルトのデバイス プロファイルを追加できます。
ステップ 5	エンタープライズ電話の設定 (7 ページ)	同じクラスタ内のすべての電話に適用されるエンタープライズ電話の基本設定を指定できます。

デバイスのデフォルト値の設定

デバイスのデフォルト設定の更新

デバイスのデフォルト設定を構成するには、次の手順を実行します。この設定では、デフォルトのファームウェアロード、デフォルトのデバイスプール、ソフトキーテンプレート、および登録方法（自動登録またはアクティベーションコード）を割り当てることができます。

始める前に

デバイスのデフォルト設定を更新する前に、システムに適用する次のタスクを実行します。

- TFTP サーバにデバイスの新しいファームウェア ファイルを追加します。
- デバイスのデフォルトを使用して、ディレクトリに存在しないファームウェア ロードを割り当てると、それらのデバイスは割り当てられたファームウェアをロードできません。
- 新しいデバイスプールを設定します。デバイスが電話の場合は、新しい電話テンプレートを設定します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスのデフォルト (Device Defaults)] を選択します。

ステップ 2 [デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウで、更新するデバイスタイプに適用可能な設定を変更し、[保存 (Save)] をクリックします。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。

- ロード情報 (Load Information)
- デバイスプール (Device Pool)
- 電話テンプレート (Phone Template)

ステップ 3 そのタイプのすべてのデバイスをリセットして、クラスタ内の全ノードにある該当するタイプのすべてのデバイスに新しいデフォルトをロードするには、デバイス名の左側にある [リセット (Reset)] アイコンをクリックします。

すべてのデバイスをリセットしない場合は、ノードに自動登録された新しいデバイスにだけ、更新されたデフォルト値が設定されます。

デフォルト デバイス プロファイルの設定

ユーザがユーザデバイスプロファイルのない電話機にログインした場合、電話機は必ずデフォルトのデバイスプロファイルを使用します。

デフォルトのデバイスプロファイルには、デバイスタイプ（電話機）、ユーザロケール、電話ボタンテンプレート、ソフトキーテンプレート、マルチレベル優先順位およびプリエンブション（MLPP）情報が含まれています。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM Administration ウィンドウで、[デバイス（Device）]>[デバイスの設定（Device Settings）]>[デフォルトのデバイス プロファイル（Default Device Profile）]を選択します。
- ステップ 2 [デフォルトのデバイスプロファイルの設定（Default Device Profile Configuration）]ウィンドウで、[デバイスプロファイルタイプ（Device Profile Type）]ドロップダウンリストから、該当する Cisco Unified IP Phone を選択します。
- ステップ 3 [次へ（Next）]をクリックします。
- ステップ 4 [デバイスプロトコル（Device Protocol）]ドロップダウンリストから、適切なプロトコルを選択します。
- ステップ 5 [次へ（Next）]をクリックします。
- ステップ 6 [デフォルトのデバイスプロファイルの設定（Default Device Profile Configuration）]ウィンドウで、フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 7 [保存（Save）]をクリックします。

デフォルトのデバイスプロファイルでのソフトキーテンプレートの設定

Cisco Unified Communications Manager には、コール処理およびアプリケーション用の標準のソフトキーテンプレートが含まれています。カスタムソフトキーテンプレートを作成するときは、標準テンプレートをコピーして、必要に応じて変更します。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理（Cisco Unified CM Administration）]から、以下を選択します。[デバイス（Device）]>[デバイスの設定（Device Settings）]>[ソフトキーテンプレート（Softkey Template）]を選択します。
- ステップ 2 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
 - a) [新規追加（Add New）]をクリックします。

- b) デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
- c) [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
- d) [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 3 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、次の手順を実行します。

- a) [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
- b) 必要な既存のテンプレートを選択します。

ステップ 4 [デフォルト ソフトキー テンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。

(注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

ステップ 5 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから [ソフトキー レイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

ステップ 6 [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウンリストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。

ステップ 7 [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。

ステップ 8 追加のコール状態でのソフトキーを表示するには、前述のステップを繰り返します。

ステップ 9 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 10 次のいずれかの操作を実行します。

- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」と「電話機のセクションとソフトキーテンプレートの関連付け」を参照してください。

次のタスク

次のいずれかの設定ウィンドウにあるソフトキーテンプレートドロップダウンからテンプレートを選択すると、カスタマイズされたソフトキーテンプレートをデバイスに適用できます。

- 電話の設定 (Phone Configuration)
- ユニバーサルデバイステンプレート (Universal Device Template)
- BAT テンプレート (BAT Template)
- 共通デバイス設定 (Common Device Configuration)

- デバイスプロファイル (Device Profile)
- デフォルトのデバイスプロファイル (Default Device Profile)
- UDP プロファイル (UDP Profile)

デバイスプロファイルの設定

デバイスプロファイルは特定のデバイスに関連付けられた属性のセットで構成されます。Cisco Extension Mobility機能を使用するために、作成したデバイスプロファイルをエンドユーザーに関連付けることができます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration ウィンドウで、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスプロファイル (Device Profile)] を選択します。
- ステップ 2** [デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで、[デバイスプロファイルタイプ (Device Profile Type)] ドロップダウンリストから、該当する Cisco Unified IP Phone を選択します。
- ステップ 3** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4** [デバイスプロトコル (Device Protocol)] ドロップダウンリストから、適切なプロトコルを選択します。
- ステップ 5** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 6** [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウンリストから、テンプレートを選択します。
- ステップ 7** (オプション) [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストから、ソフトキーテンプレートを選択します。
- ステップ 8** [デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。

(注) デバイスプロファイルを使用して Cisco Extension Mobility をセットアップする方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5(1)SU1 機能設定ガイド』を参照してください。

エンタープライズ電話の設定

エンタープライズ電話設定の構成

ネットワーク内の電話機で使用可能なデフォルトの製品固有の設定フィールドを設定するには、次の手順を使用します。

このウィンドウでセットするパラメータも、様々なデバイスの [共通電話プロファイル構成 (Common Phone Profile Configuration)] ウィンドウおよび [電話構成 (Phone Configuration)] ウィンドウで表示される場合があります。これらの他のウィンドウでも同じパラメータを設定した場合、それらの設定の優先順位は、1) [電話構成 (Phone Configuration)] ウィンドウでの設定、2) [共通電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウでの設定、3) [企業電話構成 (Enterprise Phone Configuration)] ウィンドウでの設定の順になります。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configuration)] を選択します。
 - ステップ 2** [製品固有の設定レイアウト (Product Specific Configuration Layout)] セクションの必須フィールドに入力します。

すべてのエンタープライズ電話パラメータについて説明を表示するには、[エンタープライズ電話パラメータの設定 (Enterprise Phone Parameters Configuration)] ウィンドウで [?] ボタンをクリックします。
 - ステップ 3** [エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
-

電話の設定

Unified Communications Manager データベースに電話を手動で追加するには、この手順を実行します。自動登録を使用している場合は、次の手順を実行する必要はありません。自動登録を選択すると、Unified Communications Manager が自動的に電話を追加し、ディレクトリ番号を割り当てます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。

- ステップ 3** [電話タイプ (Phone Type)] ドロップダウンリストから、該当する Cisco IP Phone モデルを選択します。
- ステップ 4** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 5** [デバイス プロトコルの選択 (Select the device protocol)] ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。
- SCCP
 - SIP
- ステップ 6** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 7** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
- (注) セキュリティプロファイルで設定されている CAPF 設定は、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウに表示される Certificate Authority Proxy Function の設定に関係するものです。製造元でインストールされる証明書 (MIC) またはローカルで有効な証明書 (LSC) に関連する証明書操作の CAPF 設定を設定する必要があります。電話の設定ウィンドウで更新する CAPF 設定がセキュリティプロファイルの CAPF 設定に与える影響の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』を参照してください。
- ステップ 8** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 9** [関連付け (Association)] エリアで、[回線 [1] - 新規 DN を追加 (Line [1] - Add a new DN)] をクリックします。
- ステップ 10** [ディレクトリ番号 (Directory Number)] フィールドに、電話に関連付ける電話番号を入力します。
- ステップ 11** [保存 (Save)] をクリックします。

セルフケアポータル

セルフケアポータルは、展開プロセスの一部として、新しい電話機のプロビジョニングと設定を行うために使用できます。

- エンドユーザは、ポータルを使用して電話機の機能と設定をカスタマイズできます。
- アクティベーションコードによるデバイスのオンボーディングでは、ポータルを使用して電話機をアクティブ化するオプションがユーザに提供されます。
- ユーザは、ポータルを使用して、自分用のシングルナンバーリーチのリモート接続先をセルフプロビジョニングすることもできます。

ポータルを使用する前に、エンドユーザにアクセス権を設定する必要があります。ポータルのセットアップ方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能設定ガイド』の「セルフケアポータル」の章を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。